

平成29年度 第2回  
日本学校教育相談学会長崎県支部研修会

---

## 不適応を起こしている 子どもの支援



名城大学 曾山和彦

---

2018.2.3

## 本日の研修の柱

---

- 「関係づくり」体験
- 学校不適応の定義・現状
- 現代の子どもの姿と支援の「王道」
- 学級づくり(居場所づくり)の理論
- 不適応を起こしている子どもへの支援



「チーム学校」で上記にアプローチする

## はじめに 参加者の「関係づくり」

---

お薦めの「関係づくり」演習

### ネームゲーム

学校不適応予防・指導・支援のキーワードは  
「関係づくり」!  
関係づくりの第一歩は相手への関心!



---

3

## 学校不適応の定義と現状

---

<定義> 学校における集団活動や学業などの諸活動に対する適応の困難さを示し、本人ならびに周囲の人が苦しんでいる状態(曾山)

- 歯止めがかからない学校不適応(不登校、いじめ等)問題
- 小6から中1にかけて、不登校数は3倍、いじめ認知件数は1.3倍になる「**中1プロブレム**」
- 通常学級に在籍する**発達障害児**の2次障害としての学校不適応問題

---

4

## よりよい学級づくりが すべての教育課題を解決する!

いわゆる「A・L」  
推進の大前提



- 「学力の秋田！」(学習指導)
- 「秋田わか杉っ子学びの十ヶ条」(生徒指導)

秋田県教委指導主事・管理主事として在職していたため、  
学校現場の状況はよくわかります

- 「気になる子が溶けこむ授業」(特別支援教育)

「クローズアップ現代」にて紹介されたA小、その実践を継ぐ  
B小の両校にかかわり、成果を目の当たりにしています

子どもが笑顔になる学級は、**保護者**もまた笑顔に!

---

5

## 現代社会における 学校存在の意義

学校は、「人を人にする  
最後の砦」!

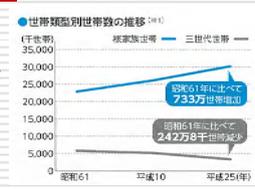


- 三世帯世帯が減少、核家族世帯が増加
- 地域の教育力は昔に比べ低下

最大要因は「他人の関与を  
歓迎しない風潮」(私事化)

□ 「人が人になるには人が必要」

家庭・地域の教育力は以前に比べ、ぐっと落ちているが  
学校は昔同様、**人が集まる場**。教師の工夫次第で、  
「人と人にする」アプローチが可能



● 世帯類型別世帯数の推移(世帯数)  
核家族世帯(青線) 三世帯世帯(赤線)

2010年(平成22年)に比べて  
242万8千世帯減少

2010年(平成22年)に比べて  
733万世帯増大

---

6

## 現代の子どもの姿と支援の「王道」

キーワードは**自尊心** & **ソーシャルスキル**

「人が人の中で生きる機会」が失われつつある現代社会

かかわりを通して育まれる  
**自尊心** & **ソーシャルスキル**が育ちにくい子どもたち

- 自分にOKと言えなければ他者には尚更OKとは言えない。自分を大切にできなければ他者は尚更大切にできない  
→ **自尊心**(自己評価の感情)を育もう！
- 他者とかわる技術・コツがなければ他者を大切にできない  
→ **ソーシャルスキル**を育もう！

7

## 学級づくりの理論

- 「居場所」の2条件(園分、河村)  
・「ルール」と「ふれあい(リレーション)」
- A. マズローの階層説が「居場所」の理論ベース

だから、まずは「ルール」なのです！

8

## ルールづくりのワザ

「話を聴く」というルール & スキル育成は？

- を見逃さないアンテナによる感知 & 対応
  - ・対決 メッセージ;
  - ・対決 メッセージ;
  - ・「 」;
- を見逃さないアンテナによる感知 & 対応
  - ・肯定 メッセージ;
  - ・肯定 メッセージ;
  - ・ ;

年齢、発達段階、障害特性への留意が必要！

9

## 年齢・発達段階への配慮とは

伝わるように言葉をかけましょう！

- 「注意・指示 & 褒め言葉」が効く・効かない境は？  
→ **10歳** or **思春期**
- 「子どもは褒めて育てる」…大ウソ！？  
→ 「境」と「落とし穴」

「大揺れの船(思春期)」から、子どもが海に投げ出された時、泳いで行く・浮き輪を投げる等、助けられる大人に！

知識・理論・技法 ← 例: **アイメッセージ** & **勇気づけ**

親業      アドラー心理学

最強 & 最高 & 最善の言葉は

10

## 自閉症スペクトラム障害

(Autism Spectrum Disorder)

2領域(社会的コミュニケーションの制限、反復性の行動・興味)における軽度(L1)～重度(L3)の能力低下という連続体を示す障害 (DSM-V 日本語版 2014年5月発刊)

PDD(広汎性発達障害)  
\* 社会性、コミュニケーション、想像力の弱さ

- ・自閉性障害(\*この中で知的な遅れを伴わない者が「高機能自閉症」)
- ・レット障害
- ・小児期崩壊性障害
- ・アスペルガー障害
- ・特定不能PDD(\*非定型自閉症と同義)

DSM-IVではPDDの診断名

11

## ASD支援のワザ

発達障害理解により「合理的配慮」が見えてくる

- 視覚情報の活用 ← フォトグラフィックメモリー
- 一度にひとつ ← 短期記憶の弱さ
- 予定の伝達 ← 見通しのもちにくさ
- 肯定的表現 ← 苦手な禁止、注意
- 文化に寄り添う
  - ◇ 感覚の過敏性 (例) 触覚、聴覚、視覚、嗅覚、味覚等
  - ◇ 字義性 (例) 真っ直ぐ家に帰るのよ → あそこの角を曲がらないと帰れないよう～

「文化に寄り添う」以外は全てユニバーサル支援でもあり

12

### 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法 2013.6月成立)

- 差別的取扱いの禁止 (法定義務)
- 合理的配慮不提供の禁止 (国・地方公共団体等は法定義務)

基礎的環境整備のもとに

2016.4月施行  
特に、学校生活の様々な場面における「合理的配慮」に関する校内整備が必要。保護者の声に応えるために...

「推進」の要は特別支援教育コーディネーター、管理職との「タッグ」を組んで!

13

### ふれあいづくりは「縦系」と「横系」を織り上げる

- 縦系;教師と子どもを結ぶ系
- 横系;子ども同士を結ぶ系

縦系 & 横系を紡ぎ、学級という「機」を織り上げましょう!

学級づくり=機織り このイメージがなじみます

14

### 教師と子どもの「縦系」を織るワザ

主に自尊感情へのアプローチ

- 全ての子どもに声かけという「ボール」を投げる

気になる子は「褒められ、叱られ」、「ボール」を「グローブ」で多く受けている。周りの子は? 気になる子には学校全体で「ボール」を投げよう!

Q-U実施の意義

\* 様々なある「ワザ」から、本研修では上記一つに絞り込み!

15

### 子ども同士の「横系」を織るワザ

主にソーシャルスキルへのアプローチ

- 短時間&ゲーム感覚で楽しめるグループアプローチを活用する

ふれあいづくりの「花火を打ち上げる」と「火を灯し続ける」

お薦め演習「アドジャン」

学校生活の様々な場面でスキルの強化&般化

秀逸! 依佐美中(愛知)実践 「王道II」参照

桜ヶ丘中(鳥取)1年生、H29年度1学期、不登校ゼロ実現

16

### 「打ち上げ花火」の5条件

- 短時間の活動であれ
- ルールと型が徹底された活動であれ
- 繰り返し行える活動であれ
- 児童生徒同士がかかわりを楽しめる活動であれ
- 教師自身も楽しめる活動であれ

この5条件があれば、きっと「花火」が綺麗に上がります!

17

### ソーシャルスキル・トレーニング(SST; social skill training) ~教えることがなじむ技法~

- SSTは行動の教育

<基本展開>

1. インストラクション(言語教示)
2. モデリング(示範)
3. リハーサル(実行)
4. フィードバック(評価)

演習;アドジャン

ねらい;挨拶、話の仕方(〇〇です)、話の聴き方(顔ぎ、視線、表情等)

18

### 構成的グループ・エンカウンター(SGE; structured group encounter) ～教えることがなじまない技法～

SGEは感情の教育

・「〇〇に気づいた、〇〇を感じた」等、個々の気づきをうながす。

演習; アドジャン

ねらい; 自他理解

19

### 不登校生徒の追跡調査より (文部科学省 2014.7.9発表)



- 長期欠席となる前に兆候となる欠席があり、“潜在期間”を経て不登校に陥る傾向。  
 ↑ この段階で家庭訪問等による気持ちの丁寧な聴き取り
- いったん不登校が長期化すると、学校復帰が困難になる傾向。  
 ↑ 復帰は13.7%にとどまる

休みははじめの段階で、学校・家庭・機関連携を大切に!

適応指導教室等

20

### 私が出会った言葉 ～不登校の子どもを支えるヒントが見える～

- 「理由はあったが言いたくなかった」(金馬氏)
- 「自分がなぜ学校に行けないのか、わからなかった」(学生)
- 「親は焦らないでほしかった」(学生)
- 「適応指導教室があることを教えてくれれば、引きこもらなかった」(学生)
- 「周りには小さなことでも本人に大きな問題。教師と親が、本人が納得するまで向き合っていれば、欠席が長期化することはなかったかも」(追跡調査生徒)

皆さんが大切にしている言葉は?



21

### 不登校予防の視点

あたたかな人間関係づくり

↑ SGE

社会性・欲求不満耐性の育成

↑ SST

児童生徒本人だけでは克服できない環境除去

22

### 不登校の基本的な考え方

成長・発達の課題

成長・発達の後、「結果として」登校

一人一人に異なる指導・支援

特効薬はなく、日常の積み重ねがポイント

学校・担任とのパイプが再登校の必要条件

解決策を与えず、共に考える姿勢で

23

### 不登校の子どもの現状理解

そうせざるを得ない

強い不安

娯楽に没頭

一番安全な夜

暴力にも理由

嘘ではない言葉

理解してはじめて指導・支援が考えられる

24

## 不登校支援はガソリン補充

ガソリン; 自尊感情 & ソーシャルスキル

- カウンセリング基本5技法
- ジョイニング
- リソース探し
- 例外探し 等

様々なガソリン補充法



25

## 傾聴

～全ての理論、技法を超えた基礎・基本～

- 言葉の応答に限らず、身体全体、心も併せて聴けたか(言語及び非言語的コミュニケーションはどうだったか)
- 相手の話を取ってしまわなかったか
- ジョイニング(波長合わせ)ができたか

話し上手は、聴き上手

26

## 傾聴の意義と カウンセリング基本5技法

- クライアントの言葉を鏡になって返すことにより、クライアント自身の自己対話が始まる。
- アメリカの心理実験。カウンセラーの技量、技法に関係なく、クライアントが治るときにはカウンセリング場面で必ず「沈黙」がある。

基本5技法

受容、繰り返し、明確化、支持、質問

27

## ジョイニング

基本技法を組み合わせ、相手の価値観等に波長を合わせる

そう思えたら相談に来てないわよ

そんなに落ち込まないで、ポジティブに考えよう！！

失敗例



「助言」は難しい！？

28

## リソース探し

人は誰でもリソース(資源)を持っている  
いつでもどこでもリソース、リソース

いいとこ探し &  
リフレーミング活用

リソースを探して、  
「褒める・勇気づける・認める」  
ちょっとしたお手伝いなどに「ありがとう」

無理に褒めず……

29

## リフレーミング演習

私たちは「禁句」を言いがち

子どもが1時間かけて宿題に取り組み、  
今、ちょうど半分終えたとき……

<禁句>

(年齢に応じて)

「見方」を変え(リフレーミング)、子どもの「」になる！

30

### 例外探し

ブリーフ・セラピーは絶対お薦め!

うまくやれていること(例外)はきっとある

「てめえ!」と言う暴言が「問題」 → 「先生、あのね」と言う丁寧語が「例外」

なぜ、「例外」が生まれた?  
(例外の責任追及)  
・「休み時間に一緒に遊んだから」  
・「ゆっくりと話を聞いたから」  
支援のヒントがここにある

私たちは「問題」が100%のように思いがち

31

### ガソリンチェック

～子どもを「車」に例えるならば(花輪)～

「車」を動かせるかどうかのチェック

- 外出は?
- 生活リズムは?
- 手伝いは?
- 退屈してる?
- 学校への関心は?
- エネルギーは?

32

### 「車」を動かす

いよいよ、「車」を動かす段階

学力・体力補充

受け入れ確認

段階登校・教室復帰訓練

条件が整えば「車」は動く!

33

### いじめの構造理論

□ 4層構造(森田、1986)

- ・加害者
- ・被害者
- ・観衆～いじめを積極的に是認
- ・傍観者～いじめを暗黙支持、促進

\* 日本のいじめは中学生になると仲裁者が減り、傍観者が増える。

34

### いじめの背景理論

- 欲求不満＝攻撃説
- 社会的学習理論
- 役割理論
- シブリング・ライバルリ
- プライバタイゼーション＝私事化

友だちの話は「どうでもいい」、自分の話は「聴いて」という子

35

### いじめの態様

□ 全校種において一番多いのは、「冷やかし・からかい、悪口・脅し文句、嫌なことを言われる」であり、全体の62.5%を占める。

この時点での対応が重要(割れ窓理論)  
放置すると、「もの隠し」「暴力」へとつながる

□ 「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる」は高校が17.4%と多くなる。

36

## 「割れ窓」はすぐに修理 ～割れ窓(ブローケンウィンドウズ)理論～

もしある建物の一つの窓が割られ、修理されないままに放置されれば残りの窓は全部すぐに割られてしまうだろう

(ケリング&ウィルソン論文, 1982)

- 地下鉄の落書き消し → NYの犯罪激減
- ロッカーの整理 → 「小さな乱れ」で止める
- 悪口の指導 → いじめへの拡大阻止

37

## いじめは犯罪？

- 殴るなど、暴力をふるうと →
- けがをさせると →
- ネットで言いふらし →
- バカ、きもい →
- 殺す、死ね →
- パシリ →
- もの隠し →

38

## いじめへの基本対応

- **初期対応重視**; 小さな嫌がらせ(無視、悪口、物隠し等)を見逃さない
- **被害者の絶対安全確保**; 「あなたは悪くない」宣言
- **加害者への徹底指導**; 「社会で許されないことは学校でも許されない」ことの指導
- **校内共通指導体制**; 指導観統一
- **予防対応重視**; 人間関係づくり

39

## 初期対応重視

- いじめの第一歩として「無視(シカト)」が多い。次に、「物隠し」、「わざとぶつかる」等。小さな嫌がらせが次第にエスカレートして、ひどいいじめになっていく

問題の芽が小さいうちに対処する  
→ ブローケン・ウィンドウ(割れ窓)理論

40

## 被害者の絶対安全確保

- 安全を確保する(校内、家庭におけるきめ細かな行動観察。状況によっては保健室等の安全な学びの場の確保等)
- 共感の姿勢を示す(「あなたは悪くない」と伝え、自信をつけていく)
- 本人の希望を確認する

被害者に、関係づくりの不器用さがある場合、落ち着いた頃を見計らって、関係づくりのスキル育成支援(ソーシャル・スキルトレーニング等)を行う。

## 加害者への徹底指導

- 情報収集する
- 「社会で許されないことは学校でも許されない。いじめは犯罪である」ことを教える
- 被害者への安全確保が脅かされる場合、出席停止、別室指導導入を伝える  
(追指導が入るため人権侵害とはならない)  
処罰も含めた徹底指導の中に心のケアも必要

42

## 校内共通指導体制

- 子ども対応の確認。「いじめは許さない」宣言。「いじめはいじめる子どもが悪い」という指導観の確認
- 校内パトロール実施  
(実践例:「君を守り隊」)
- 保護者対応の確認。いじめが発生した際の対応窓口等の確認

43

## 予防対応重視

- 観衆・傍観者が生まれるのは、自己防衛意識が働くから。子ども同士のつながりが強まれば、いじめのない雰囲気づくりが学級に生まれる
- 重要なことは関係づくり  
「いじめゼロ」を実現した公立中学校が現在中心に取り入れているのがエンカウンター

44

## いじめを見つけたら

～子どもたちに教えておきたいこと～

(義家先生の言葉)

(内藤先生の言葉)

45

## 関係づくりにより、いじめの芽を摘む

- 鹿嶋真弓先生の実践(NHKプロフェッショナル)  
学級内に生徒同士のネットワークがあれば、いじめが入り込む隙はない。

子どもたちに何を「仕掛けて」いくのか  
教師の腕の見せどころ  
「関係づくり」ができなければ、I中の悲劇を生む

46

## おわりに

～皆さんに伝えられる・伝えたい**3**つのこと～



- I think の前には理論が必要
- 今見ている景色も楽しむ
- 一つだけでは多すぎる

47

## 主な参考文献

- 「親業」、トマス・ゴードン、サイマル出版
- 「時々、「オニの心」が出る子どもにアプローチ 学校がするソーシャルスキル・トレーニング」、曾山和彦、明治図書
- 「子どもに学んだ “王道”ステップ ワン・ツー・スリー」、曾山和彦、文溪堂
- 「学校と創った “王道”ステップ ワン・ツー・スリーⅡ」、曾山和彦、文溪堂

「特別支援教育」「関係づくり」に関する私の考えの「現在地」は「王道ステップⅠ・Ⅱ」にまとめました！  
F県の教員採用試験問題に使用されたとか……



HP;「KAZU・和・POCKET」

48

拙著紹介

### 「オニの心」シリーズ (明治図書)



私の初単著！ 思い出の著作です！

「オニの心」は私のお気に入りのタイトル

49

拙著紹介

### 「気になる子」シリーズ (教育開発研究所)



全国各地の「仲間」と創り上げた本です！

優しい色合いの表紙も私のお気に入り

50

拙著紹介

### 「王道」シリーズ (文溪堂)



私の実践・研究の現在地をまとめました！

「王道＝正攻法の基本型」の教育を目指して

51

拙著紹介

### 親から子へ かかわりの糸を結ぶ21の言葉 (文溪堂)



今、私が一番創りたかった本・・・  
「先生方の応援者」であることに加え、「保護者の応援者」にもなりたくて書き上げた本です！

このタイトルで多くのPTA講演もお受けしています！

私の応援メッセージが届きますように

52